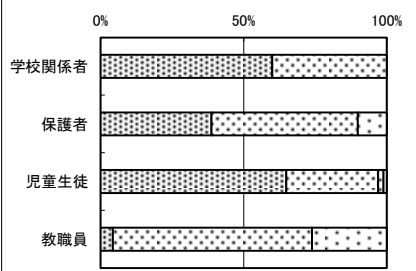
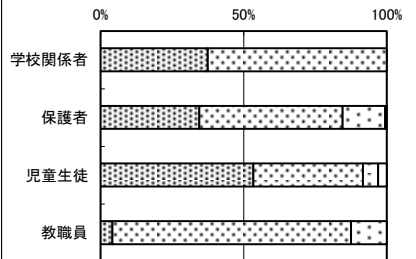
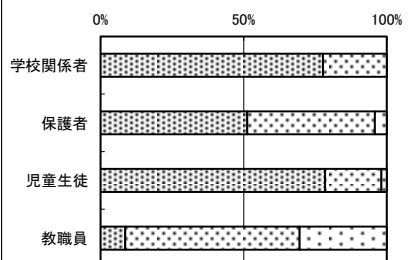
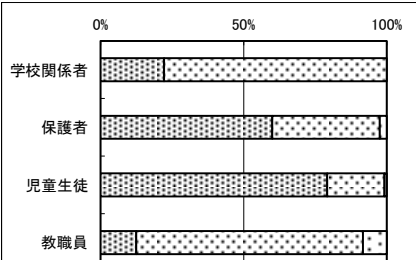


<p>1 家族地域へのあいさつ等</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、家族や地域の方に対するあいさつや場に応じた言葉遣いができている。</p>	<p>○生徒が97%、保護者が90%、学校関係者が100%と家族や地域の方にあいさつを行っているという回答。 ▲教職員が74%となっている。上期に比べて数値はそれぞれ上昇しているが、まだ、学校での実態からすると地域で十分できていない生徒もある程度いることが想定されるという回答である。</p>																				
 <table border="1"> <caption>あいさつに関する評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90</td> <td>0</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>97</td> <td>0</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>74</td> <td>0</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	90	0	90	児童生徒	97	0	97	教職員	74	0	74	<p>◇「あいさつが飛び交う〇〇中校区」等をキャッチフレーズとした「あいさつの向上」を市教委、教育事務所からも今年度の重点項目として挙げてあり、本校でも生徒会あるいは担当職員等での継続的な呼びかけや等の取組も行ってきたが、次年度に向けてさらに粘り強い取組を行っていききたい。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	90	0	90																		
児童生徒	97	0	97																		
教職員	74	0	74																		
<p>2 稜南中の誇り</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、稜南中に誇りを持っている。</p>	<p>○生徒が92%、保護者が85%、学校関係者が100%と生徒は稜南中に誇りを持っているという回答。 ▲教職員は、88%となっているが、「十分でない」という評価の割合も12%ある。</p>																				
 <table border="1"> <caption>稜南中の誇りに関する評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85</td> <td>0</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>92</td> <td>0</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>88</td> <td>12</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	85	0	85	児童生徒	92	0	92	教職員	88	12	100	<p>◇「稜南プライドを持った生徒の育成」に向けて、今年度取り組んできて一定の成果が出ているので、次年度は、「稜南プライドを持ち」に加えて「信頼される生徒」をプラスしてさらに生徒の意識を高められるように取り組んでいきたい。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	85	0	85																		
児童生徒	92	0	92																		
教職員	88	12	100																		
<p>3 交通ルールを守り登下校</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、交通ルールを守り登下校できている。</p>	<p>○生徒が98%、保護者が96%、学校関係者が100%と生徒は交通ルールを守り登下校できているという回答。 ▲教職員は、4段階は9%であり、3段階を含めての70%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。</p>																				
 <table border="1"> <caption>交通ルールに関する評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>96</td> <td>0</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>70</td> <td>30</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	96	0	96	児童生徒	98	0	98	教職員	70	30	100	<p>◇上期に比べて生徒、保護者の評価は上がっているが、下期についても下校時の交通マナー等について地域の方から時折お叱りを受けているので、特に下校時の交通指導については、部活動終了時等の継続的な指導や全校集会等の機会での担当からの定期的な発信を継続する中で「交通ルールの徹底」を次年度に向けても図っていききたい。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	96	0	96																		
児童生徒	98	0	98																		
教職員	70	30	100																		
<p>4 自分の命や人権</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>																				
<p>生徒は、自分の命や人権を大切にしている。</p>	<p>○生徒が99%、保護者が98%、学校関係者が100%と生徒は自分の命や人権を大切にしているという回答。 ▲教職員は、4段階は13%であり、3段階を含めての92%となっており、「不十分な部分もある」という評価である。</p>																				
 <table border="1"> <caption>自分の命や人権に関する評価割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> <th>合計 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>99</td> <td>0</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>92</td> <td>8</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)	学校関係者	100	0	100	保護者	98	0	98	児童生徒	99	0	99	教職員	92	8	100	<p>◇上期に比べて評価は、さほど変化していないが、「自分の命は自分で守ること」や自分の人権を大切にすることと同じように他の人の人権も大切にしていくことの重要については、日常的な人権教育や人権学習、人権集会等においてこれまでも実践をしてきたところである。しかしながら「人権感覚」に欠ける言動が見られることもまだまだ少なくない。次年度に向けて人権意識の高揚を図るために人権教育の日常化をさらに進めていきたい。</p>
対象者	評価4 (%)	評価3 (%)	合計 (%)																		
学校関係者	100	0	100																		
保護者	98	0	98																		
児童生徒	99	0	99																		
教職員	92	8	100																		

5	友達と仲良く	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
生徒は、友達と仲良く生活することができている。		<p>○生徒が99%、保護者が95%、学校関係者が100%と生徒は友達と仲良く生活できていると回答。</p> <p>▲教職員は、4段階は17%であり、3段階を含めての100%となっており、上期の評価と大きくは変化していない。</p> <p>◇年3回実施の定期的教育相談の第3回目を今後実施するが、友達への言動等においても、いじめにつながる部分はないか等、常にアンテナを高くしておくことは、今後とも大事にしなければならない。また次年度に向けてもいじめ等の諸問題の未然防止、早期対応の視点で日常的な指導の充実を全職員で組織としてしっかり取り組んでいきたい。</p>

6	環境づくり	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
生徒は、美しい学校づくりに努めている。		<p>○生徒が93%、保護者が89%、学校関係者が100%と生徒は美しい学校づくりに努めていると回答しており、上期と比べて評価は、あまり変化していない。</p> <p>▲教職員は、4段階は8%であり、3段階を含めての83%となっており、「2」という評価も17%である。</p> <p>◇掃除前のすばやい移動の呼びかけの指導を継続的に行ってきたこともあり、開始時刻を守る等については向上が見られた。次年度に向けても勤労意欲やどこをどのようにきれいにすべきかのアイデアを持って掃除等に取り組める生徒を育てていこうにしたい。</p>

7	学習への取り組み	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
生徒は、学校での学習に励んでいる。		<p>○生徒が91%、保護者が77%、学校関係者が100%と生徒は学校での学習に励んでいると回答しており、上期と比べて評価に大きな変化はあまりない。</p> <p>▲教職員は、4段階は4%であり、3段階を含めての88%となっており、「2」という低い評価も8%である。</p> <p>◇上期同様に保護者の評価が一番低くなっている。お子さんの家庭学習での取組の様子等も含めてそのように判断された結果と思われる。次年度に向けて「より主体的に学習に取り組める」ように「意欲を高める手立て」、「主体的な活動を促す指導法」等について共通理解・共通実践をしっかり図りながら組織全体で取り組んでいきたい。</p>

8	学習の理解	学校から(%は、評価4と評価3の割合)
生徒は、授業がよく分かっている。		<p>○生徒が88%、保護者が61%、学校関係者が75%と生徒は授業がよくわかっていると回答しており、学校関係者の方の評価が上期に比べて下がっている。</p> <p>▲教職員は上期と同様に4段階は0%であり3段階を含めての75%となっており、「2」という低い評価も25%である。</p> <p>◇上期同様に保護者の評価が一番低くなっている。それぞれのお子さんのテスト結果や通知表等の評定等からそのように判断された結果と思われる。当然のことであるが、生徒はもちろん保護者の方も「分かる授業」を期待されている。次年度に向けて今年度取り組んできた「分かる授業の5つのポイント」等を意識した授業改善をさらに進め、教師全員の授業力向上を学校全体で今後も取り組んでいきたい。</p>

9	家庭学習（予習復習）	学校から（％は、評価4と評価3の割合）
生徒は、家庭学習（予習や復習）に取り組んでいる。		<p>○生徒が82%、保護者が55%、学校関係者が100%と生徒は家庭学習に取り組んでいると回答しており、上期に比べて若干評価が向上している。</p> <p>▲教職員は、4段階は4%であり、3段階を含めての54%となっており、上期よりも低い評価となっている。</p> <p>◇保護者及び教職員の評価数値がほぼ同じとなっている。その結果でいくと約半数の生徒の家庭学習の状況が不十分であるという評価を保護者、教職員ともにしているということである。このことは、家庭学習の質的転換の必要性について保護者の方と課題意識を共有できているということにもなるので、次年度に向けて一層の家庭と連携した家庭学習の質的転換の提案をしていくようにしていきたい。</p>

10	読書	学校から（％は、評価4と評価3の割合）
生徒は、よく本を読んでいる。		<p>○生徒が45%、保護者が29%、学校関係者が50%と生徒は、よく本を読んでいると回答しており、学校関係者の方の評価が下がっている。（なお、関係者の方には、協議会等で上期の読書結果等を説明をさせていただいている）</p> <p>▲教職員は、4段階は0%であり、3段階のみお17%となっており、「2」「1」という低い評価が83%である。</p> <p>◇上期同様、全項目中の評価が一番低い項目となっている。上期の評価を受けて学校として、活字に触れさせる機会を多くして読書習慣につなげていくために、朝読書やチャレンジタイム後半の読書を下期途中から始めたところである。まだ、大きな成果は出ていないが、次年度に向けてもこの取組をさらに充実させ、読書習慣の形成を図っていきたい。</p>

11	食に関して	学校から（％は、評価4と評価3の割合）
生徒は、給食や家庭での食事では好き嫌がなく何でも食べている。		<p>○生徒が90%、保護者が74%、学校関係者が100%と生徒は、給食や家庭での食事を好き嫌なく食べていると回答しており、上期との評価の変化はない。</p> <p>▲教職員は、4段階は17%であり、3段階を含めての79%となっており、「2」という低い評価が21%である。</p> <p>◇上期同様に保護者の評価が一番低い。家庭での食事での好き嫌い様子からそう判断された結果と思われる。生徒たちからは、上期同様、給食では好き嫌なく食べるようにしているという意識がうかがえるので、次年度に向けて食育の取組をさらに充実させ、定期的・継続的に行う中で、子どもたちの意識をさらに高められるようにしていきたい。</p>

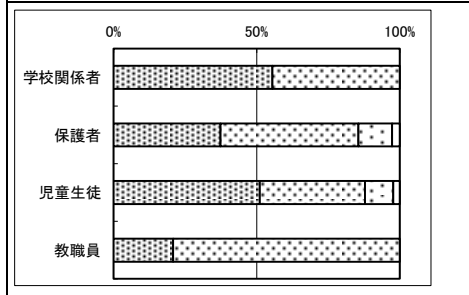
12	心身ともに健康な生活	学校から（％は、評価4と評価3の割合）
生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができている。		<p>○生徒が92%、保護者が87%、学校関係者が100%と生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができていると回答。</p> <p>▲教職員は、4段階は21%であり、3段階を含めての83%となっており、「2」という低い評価が17%である。</p> <p>◇教職員の評価が上期より若干下がっているが（冬場になり感染症等で体調をくずす生徒が増えたが）概ね健康的な生活を送ることができているという評価である。しかし上期同様に心配される状況もある。上期に課題としてあがった「休日の睡眠不足」等の課題解決に向けて、週末時の生徒への声かけや保健便り・学級通信等での家庭への継続的な啓発等を行ってきたが十分な成果は出ていない。次年度に向けても保生活指導・保健指導の重点取組として家庭と連携して粘り強く取り組んでいきたい。</p>

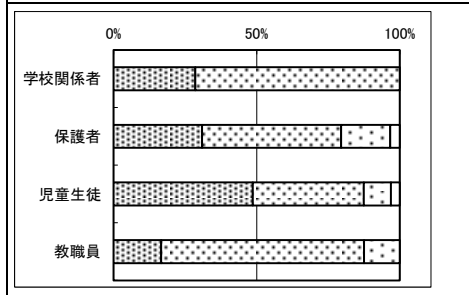
13	運動について	学校から(％は、評価4と評価3の割合)										
生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいる。		<p>○生徒が87%、保護者が84%、学校関係者が100%と生徒は、体育や部活動で体力づくりに取り組んでいると回答。 ▲教職員は、4段階は42%であり、3段階を含めての96%となっており、上期同様に生徒や保護者より高い評価となっている。 ◇上期同様に、生徒、保護者、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価であるが、次年度に向けても部活動未加入生徒等も一定数いることもあるので、運動量の確保を含めた教科体育の一層の充実を図っていきたい。</p>										
<table border="1"> <caption>Item 13 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4と評価3の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	評価4と評価3の割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	84%	児童生徒	87%	教職員	96%	
対象者	評価4と評価3の割合 (%)											
学校関係者	100%											
保護者	84%											
児童生徒	87%											
教職員	96%											

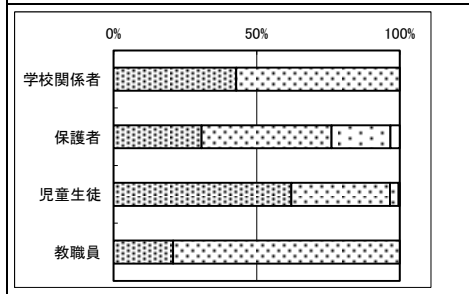
14	家庭・地域との連携	学校から(％は、評価4と評価3の割合)										
稜南中では、地域と連携した教育活動ができていると思う。		<p>○生徒が89%、保護者が85%、学校関係者が90%と稜南中は、地域と連携した教育活動ができていると回答しており、若干、上期の評価を下回っている。 ▲教職員は、4段階は25%であり、3段階を含めての92%となっており、上期同様に生徒、保護者より高い評価である。 ◇生徒、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価をしているが、学校関係者の10%、保護者の方の15%は、十分ではないという評価をされているので、「どういう部分での連携が不足しているのか」等も含めて、次年度から本校でもスタートする国版コミュニティ・スクールの協議会の方々のご意見等も伺いながら連携を深めていきたい。</p>										
<table border="1"> <caption>Item 14 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4と評価3の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	評価4と評価3の割合 (%)	学校関係者	90%	保護者	85%	児童生徒	89%	教職員	92%	
対象者	評価4と評価3の割合 (%)											
学校関係者	90%											
保護者	85%											
児童生徒	89%											
教職員	92%											

15	学校情報の定期的発信	学校から(％は、評価4と評価3の割合)										
稜南中は、学校だよりや学級通信、ホームページ、学校メール等で情報発信を行っている。		<p>○生徒が89%、保護者が90%、学校関係者が100%と稜南中は、学校だより、学級通信、HP、学校メール等で情報発信を行っていると回答。(上期よりも保護者評価が向上) ▲教職員は、4段階は54%であり、3段階を含めての100%となっており、保護者より高い評価である。 ◇教職員は、可能な情報発信は、概ねできているという評価をしているが、保護者の方の10%(上期12%)は、そうではないという評価をされているので、次年度に向けて「より効果的な情報の発信(読んでもらえる内容)」を情報発信の手段や機会も含めてさらに意識しながら行っていきたい。</p>										
<table border="1"> <caption>Item 15 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4と評価3の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	評価4と評価3の割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	90%	児童生徒	89%	教職員	100%	
対象者	評価4と評価3の割合 (%)											
学校関係者	100%											
保護者	90%											
児童生徒	89%											
教職員	100%											

16	キャリア教育について	学校から(％は、評価4と評価3の割合)										
生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができている。		<p>○生徒が83%、保護者が59%、学校関係者が100%と生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができていると回答しており、上期より5%程度改善。 ▲教職員は、4段階は4%であり、3段階を含めての58%となっており、上期同様に保護者とほぼ同様の評価である。 ◇生徒の評価と保護者、教職員の評価との隔たりは、上期同様であり、将来を考え目標を立てて取り組むことの重要性について実感が伴っていないことの課題は残ったままである。次年度に向けてキャリア教育の充実は、不可欠である。キャリア教育の指導計画等に沿ってそれぞれの学年段階に応じたキャリア教育の充実を図るとともに次年度から導入される「キャリアパスポート」活用をしっかりと図っていきようにしたい。</p>										
<table border="1"> <caption>Item 16 Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4と評価3の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>59%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	評価4と評価3の割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	59%	児童生徒	83%	教職員	58%	
対象者	評価4と評価3の割合 (%)											
学校関係者	100%											
保護者	59%											
児童生徒	83%											
教職員	58%											

<p>17 生徒を大切にした教育</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>
<p>私は生徒を大切にした教育を行っていると思う。</p>	<p>○生徒が88%、保護者が86%、学校関係者が100%と生徒を大切にした教育を行っていると回答しており、上期に比べて向上している。</p>
 <p>A horizontal bar chart with a scale from 0% to 100%. The y-axis lists four groups: 学校関係者 (School-related), 保護者 (Guardian), 児童生徒 (Students), and 教職員 (Staff). The x-axis shows percentages. The bars are filled with a dotted pattern. School-related: 100%. Guardian: 86%. Students: 88%. Staff: 21%.</p>	<p>▲教職員は、4段階は21%であり、3段階を含めての100%となっている。</p> <p>◇上期よりも若干減少したが生徒の12%、保護者の方の14%は、「十分ではない」と評価をしている点に目を向ける必要がある。一人一人の生徒を大切にされた教育を行うことは、学校教育の基本である。そのためにそれぞれの生徒にしっかり向き合うとともに、指導や助言・支援等をする場合には、それぞれの生徒が指導や助言等のねらいをしっかり理解・納得できるように丁寧で適切な対応を一層心がけるとともに保護者の方との確実な連携等もさらに図っていく必要がある。</p>

<p>18 教師への相談</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>
<p>私は生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると思う。</p>	<p>○生徒が87%、保護者が80%、学校関係者が100%と生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると回答。</p>
 <p>A horizontal bar chart with a scale from 0% to 100%. The y-axis lists four groups: 学校関係者 (School-related), 保護者 (Guardian), 児童生徒 (Students), and 教職員 (Staff). The x-axis shows percentages. The bars are filled with a dotted pattern. School-related: 100%. Guardian: 80%. Students: 87%. Staff: 17%.</p>	<p>▲教職員は、4段階は17%であり、3段階を含めての88%となっており、「2」の評価も13%である。</p> <p>◇下期とほぼ同じ割合だが生徒の13%、保護者の方の20%は、「十分ではない」と評価をしている点にを大事にする必要がある。次年度に向けても、相談しにくい雰囲気はないか、うまく相談等ができない生徒への対応はできているか等について改善を図るとともに一人一人に応じたより丁寧な対応を学校全体あるいは学年部等の組織として心がけていきたい。</p>

<p>19 適切な評価評定</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>
<p>私は、生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができている。</p>	<p>○生徒が97%、保護者が76%、学校関係者が100%と生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができていると回答しており、上期と評価はあまり変わっていない。</p>
 <p>A horizontal bar chart with a scale from 0% to 100%. The y-axis lists four groups: 学校関係者 (School-related), 保護者 (Guardian), 児童生徒 (Students), and 教職員 (Staff). The x-axis shows percentages. The bars are filled with a dotted pattern. School-related: 100%. Guardian: 76%. Students: 97%. Staff: 21%.</p>	<p>▲教職員は、4段階は21%であり、3段階を含めての100%となっている。</p> <p>◇生徒及び職員の評価は、ほぼ一致しているが、上期同様に保護者の方の24%は、「十分ではない」と評価をしている。この点については、保護者の方の願いとして評価・評定の適切さも含めて、それぞれのお子さんについて学力面で十分伸ばしてもらっているのかとの思いをしっかり受け止めていく必要がある。次年度に向けても適切な評価とともに、生徒一人一人の学力向上につながる指導と評価の在り方について学校全体でその充実に努めていきたい。</p>